

= Match Report =

第103回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 決勝

2024年 11月 9日 (土) 13:00 kick off 会場 (フクダ電子アリーナ)

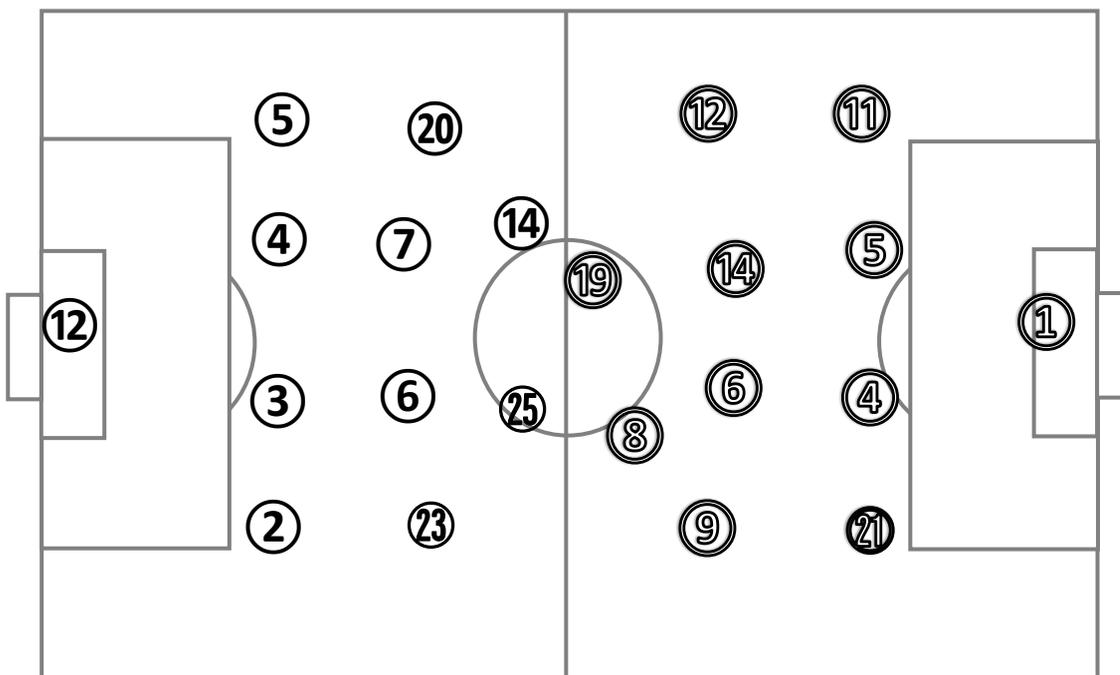
マッチNo. [42]

日体大柏 高校 (千葉) vs 流経大柏 高校 (千葉)

1 0 - 2 4
1 - 2
-
-
PK

基本システム 1 - 4 - 4 - 2

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

立ち上がりは、お互いにシンプルに前線へボールを送る展開に。開始早々7分、流経大柏は左サイドからのロングスローのこぼれ球をFW⑩粕谷がペナルティエリア内で粘り、DF④奈須が押し込み1-0とする。流経大柏はFW⑩粕谷、右サイドMF⑫松本、左サイドSH⑨安藤を起点にピッチの幅と厚みをいっぱいを使い、攻撃を仕掛ける。失点後に落ち着きを取り戻した日体大柏は、GK⑫早川も参加してDFラインからボールを失わずビルドアップをする。ビルドアップ時にはフォーメーションを変え、SHとSBのローテーションを使いながら左サイドから攻撃を仕掛ける。対する流経大柏は守備時に5バックとなり、相手のSBのオーバーラップに対応する形となり、ボランチの脇にスペースができて始める。その後、流経大柏の右サイドからのヘディングシュートに対して日体大柏GK⑫早川のファインセーブ、日体大柏DF②小菅のミドルシュートがクロスバーを叩くシーンがあるが得点は動かない。41分、流経大柏はセットプレーのクイックリスタートからDF⑫宮里のアーリークロスでDF④奈須がヘディングで2点目を決め2-0で前半を折り返す。

後半、流経大柏は相手のビルドアップに参加する相手ボランチに対しボランチを1枚前に出し、プレスをかけるシステムに変更。このハイプレスで日体大柏は、シンプルに前線へボールを送る展開に。62分、流経大柏はセットプレーを横にずらして変化をつけ、MF⑧亀田の背後へのパスをFW⑩粕谷がゴールを決め3-0。66分にもセットプレーからFW⑩粕谷が本日2点目のゴールを決め4-0。日体大柏は71分にFW⑬赤崎がハーフライン後方からドリブルで運び、ミドルシュートを決め1点を取り返す。その後は得点生まれず、セットプレーから4点を決めた流経大柏が4-1で勝利し、3大会ぶり8回目の全国大会出場を果たした。

記載責任者 所属 (千葉県立市原八幡高校) 氏名 (石川大志)